

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(334)(HP 収載) —ラドゥ・ルプーの Unreleased Recordings—

1. 始めに

前報(333)に引き続き、STAGE+のラドゥ・ルプーの Unreleased Recordings の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(333)に引き続きラドゥ・ルプーの Unreleased Recordings の演奏を選びました。

The Unreleased Recordings (Decca Masters and Radio Tapes 1970-2002)

演奏：

ラドゥ・ルプー (ピアノ)

Tel Aviv String Quartet

カジミエシュ・コルド指揮バーデン=バーデン&フライブルク南西ドイツ放送交響楽団

曲目：

ヴォルガング・アマデウス・モーツアルト

Piano Quartet No. 1 in G Minor, K. 478

ヴォルガング・アマデウス・モーツアルト

Piano Quartet No. 2 in E-Flat Major, K. 493

フランツ・シューベルト

Piano Sonata No. 15 in C Major, D. 840 "Reliquie"

フランツ・シューベルト

Piano Sonata No. 17 in D Major, D. 850 "Gasteiner"

ヨーゼフ・ハイドン

Andante and Variations in F Minor, Hob. XVII:6 "Un piccolo divertimento" (Live at Wigmore Hall, London, 1988)

ヨーゼフ・ハイドン

Piano Sonata in D Major, Hob. XVI:37: (Live at Wigmore Hall, London, 1988)

ヨーゼフ・ハイドン

Piano Sonata in C Minor, Hob. XVI:20: (Live at Wigmore Hall, London, 1988)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

Piano Sonata No. 16 in C Major, K. 545 "Sonata facile": (Live at Parish Church, Aldeburgh, 1970)

ロベルト・シューマン

Symphonic Etudes, Op. 13: Theme. Andante Etude 1/Var. 1. Un poco pi vivo (Live at St John's Smith Square, London, 1991)

ロベルト・シューマン

Symphonic Etudes, Op. 13: Supplementary Variation 1, RSW Op. 13 Anh.1 Etude 2/Var. 2. Marcato il canto Etude 3. Vivace (Live at St John's Smith Square, London, 1991)

ロベルト・シューマン

Symphonic Etudes, Op. 13: Etude 4/Var. 3 Etude 5/Var. 4. Vivacissimo ? Etude 6/Var. 5. Agitato (Live at St John's Smith Square, London, 1991)

ロベルト・シューマン

Symphonic Etudes, Op. 13: Supplementary Variation 1, RSW Op. 13 Anh.4 Supplementary Variation 1, RSW Op. 13 Anh.5 Supplementary Variation 1, RSW Op. 13 Anh.3 (Live at St John's Smith Square, London, 1991)

ロベルト・シューマン

Symphonic Etudes, Op. 13: Etude 7/Var. 6. Allegro molto Etude 8/Var. 7. Andante Etude 9. Presto possibile (Live at St John's Smith Square, London, 1991)

ロベルト・シューマン

Symphonic Etudes, Op. 13: Supplementary Variation 1, RSW Op. 13 Anh.2 Etude 10/Var. 8. Allegro Etude 11/Var. 9. Con espressione (Live at St John's Smith Square, London, 1991)

ロベルト・シューマン

Symphonic Etudes, Op. 13: Etude 12. Finale. Allegro brillante (Live at St John's Smith Square, London, 1991)

フレデリック・ショパン

Scherzo No. 1 in B Minor, Op. 20 (Live at Leeds Town Hall, 1970)

フレデリック・ショパン

2 Nocturnes, Op. 27: No. 1 in C-Sharp Minor. Larghetto (Live at Leeds Town Hall, 1970)

フレデリック・ショパン

2 Nocturnes, Op. 27: No. 2 in B-Flat Major. Lento sostenuto (Live at Leeds Town Hall, 1970)

ベラ・バルトーク

Out of Doors, Sz. 81:

アーロン・コープランド

Piano Sonata

ロベルト・シューマン

Faschingsschwank aus Wien, Op. 26

モデスト・ムソルグסקי

Pictures at an Exhibition: (Live at Concertgebouw, Amsterdam, 1984)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト

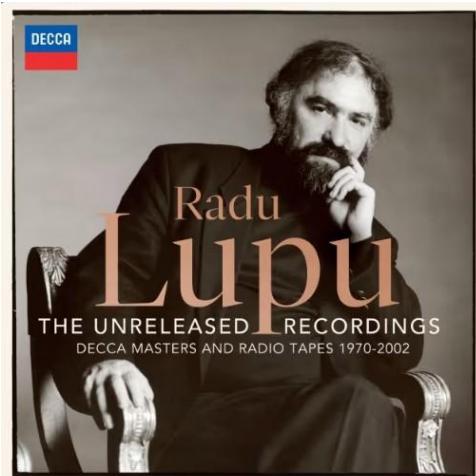
Piano Concerto No. 18 in B-Flat Major, K. 456

ロベルト・シューマン

Piano Sonata No. 1 in F-Sharp Minor, Op. 11:

クロード・ドビュッシー

D'un cahier d'esquisses, CD 112 (Live at Beethoven-Saal, Liederhalle, Stuttgart, 2002)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。

また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。ルプーのアナログ盤には慣れ親しんでいましたが、未発表のデッカのマスター や ラヂオ放送のテープが数多くあり、それらを集めて配信用のアルバムとしたものです。

本アルバムには、モーツアルトのピアノ 5 重奏の 2 曲、シューベルトのピアノソナタの 2 曲、ハイドンの変奏曲とピアノソナタの 3 曲、モーツアルトのピアノソナタ、シューマンの *Symphonic Etudes, Op. 13* から 7 曲、ショパンのスケルツオとノクターン 2 曲、バルトークのピアノ曲集、コープランドのピアノソナタ、シューマンのピアノ曲集、ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」、モーツアルトのピアノ協奏曲、シューマンのピアノソナタ、ドビッキーのスケッチブックからのピアノ曲など、延べ 6 時間半の未公開収録音源が収録されています。

ハイドン、モーツアルトの優雅な古典派からバルトーク、コープランドの現代的な曲に至る、幅広いジャンルでのルプーの多彩なピアノズムを聴くことができます。収録が 1970 年から 2002 年まで幅があり、収録年代による音質の違いも聴くことができます。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、ハイドン、モーツアルトの優雅な古典派からバルトーク、コープランドの現代的な曲に至る、幅広いジャンルでのルプーの多彩なピアノズムを聴くことができました。

以上